



発行日 平成 21 年 12 月
第 22 号

日頃、地域医療連携室にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。
当室では、共同利用病床や退院時共同指導等、他職種による地域完結型の医療を目指し、事業を展開しております。
この程、地域医療機関・福祉機関・院内等の関係者の方々にご協力をいただき、事例検討会を開催することができました。ご参加いただきました多くの皆様に心から感謝いたします。

地域医療連携室 高山 国子

地域医療連携を促進するためのセミナーの開催 !!

日時 平成21年11月3日 18時30分～19時30分
場所 平鹿総合病院講堂
主催 地域医療連携室 協賛 緩和ケアチーム
開催目的



在宅療養へ移行された終末期患者さんの一事例を通して地域住民に対する質の高い在宅医療を提供するための医療連携の具体的方法を検討する。

内容

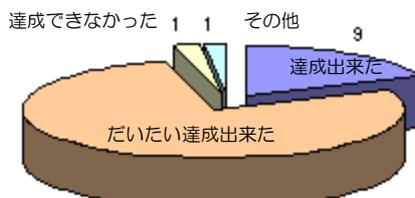
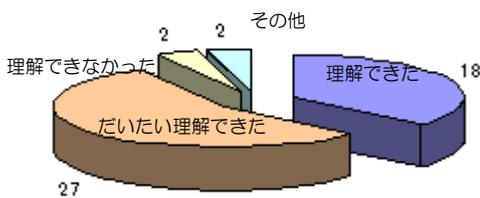
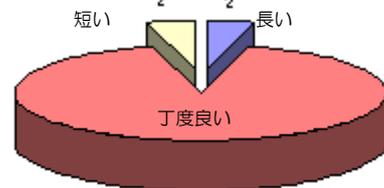
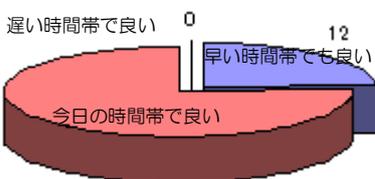
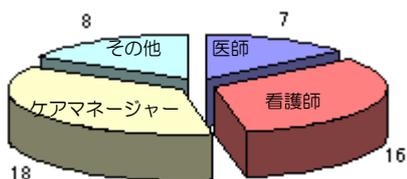
参加者 72名

平山院長、高橋連携室室長の挨拶の後、前立腺癌で終末期を在宅療養された患者さんに対するそれぞれの職種の在宅支援方法について発表した。

- ・ 当院の主治医として 佐藤 一成 副院長
- ・ がん相談室として 落合 宣子 看護師
- ・ 薬剤師として 照井 幸野 平鹿調剤主任
- ・ 訪問看護師として 鈴木 洋子 看護師
- ・ 地域医療連携室として 高山 国子

一つの問題を地域の多くの職種が検討し合うことによって、お互いの立場を理解することが出来、在宅支援体制を構築するための第一歩を踏み出す大きな足がかりとなった。

セミナーに関するアンケート結果 回答率68% N=49



- ・ お気づきの点がありましたらお書きください。
- ・ 他職種と関わることができ、勉強になった。
- ・ 認知症の患者さんと家族についてセミナーを開催してほしい。
- ・ もっと早い時期に受け皿を作り、援助できればと常々思っています。